



2020年12月1日
聖心女子学院初等科
校長 大山 江理子
12月号

新学習指導要領と評価

副校長 中塩 百合

クリスマス待つ 今この現実イエスを迎えるために

校長 Sr. 大山 江理子

11月の終わりの寒さで一気に校庭の木々も紅葉し、空気の冷たさに冬を感じるようになりました。例年とは異なる思いをもって、イエスの誕生を待つ季節を迎えています。

クリスマスに毎年繰り返し読まれ、劇としても再現されるイエスの誕生の物語は不思議なできごとに満ちています。マリアへの天使のお告げのような、その人の心の中だけで生じる極めて内面的なことから、ローマ皇帝の勅令による住民登録のために父ヨゼフと臨月のマリアは旅をしなければならないという社会的なできごとまでが混在しています。旅先で、適当な宿泊場所もない状況でイエスは誕生します。一体この混乱ぶりは何を伝えようとしているのでしょうか。イエスの存在は、神の恵みと約束による力に満ちたものでありながら、もう一方でこの世の動きに翻弄される小さなものとして描かれています。以前からずっと、出産間近なマリアにこの長旅はどれほど厳しいものだったかと、1年生がクリスマス・ウィッシングで歌う、マリアとイエスを乗せて一生懸命なロバの歌を聴きながら考えてきました。もし許されるなら延期するに違いない旅です。イエスを取り巻く現実はその誕生の時から非常に厳しいことに改めて目を向けざるを得ません。



今年の春から新型コロナウイルス感染症のためにこれまで通りでない事柄が数多く生じています。たとえば子どもの誕生でも、今までなら家族も病院を訪れてお母さんを励ましたり、出産の場面に立ち会って喜びを共にしたり、赤ちゃんを囲んで喜び合うということが普通に見られた光景でした。しかし、今年は家族が病院を訪れることは制限され、母子の安全を最優先するという状態であったことと思います。それでも子どもの誕生は喜ばしく、神様の恵みは変わらずに注がれています。

感染症の不安の中でクリスマスを迎えます。クリスマスの楽しさや喜びを世界の厳しい現実の中で、どのようなものとして受けとめ、分かち合えば良いのでしょうか。今できることに心を込め、例年通りでない状況におかれている人々のことを忘れないこと。現実から目をそらさず、しかし、今ここに注がれる神様の恵みに目を留めること。きっとそのときに思いがけない人からの言葉や励ましが心に響くに違いありません。生まれたばかりのイエスを羊飼いや東方の博士たちが訪れた時のように。例年にも増して、目に見えるものではなく、目に見えないところにある心の真実に注目する季節としたいものです。そのときに確かな希望がきっとみつかるでしょう。



正門のイチョウ並木が美しい季節となりました。先日は、参観日に多数ご参加いただき、ご丁寧な感想をありがとうございました。はじめてオンラインを活用しての参観日でしたが、安心して自宅や職場で参観できたと感想をいただき安堵いたしました。海外赴任中のお父様にもご覧いただくなど、思いもよらぬ利点があることにも気づかされました。画像や音声は明瞭でないご家庭があったようで、次にこのような機会がある際には検討したいと思います。また、事前にお知らせした通り著作権等の課題があり、黒板や教師の姿は敢えて映すことを避けて配信いたしました。ご理解いただけますと幸いです。

後期に入り子どもたちの学校生活、そして学習活動は落ち着きを取り戻しつつあります。今年度は4月より小学校の学習指導要領が改訂され、それに対応した学びも始まっています。文部科学省は、新学習指導要領について3つの大きな観点を示しています。

(*参考資料 <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201903/2.html>)



各教科などの学びを通して、

- ①「知識及び技能」 ②「思考力、判断力、表現力など」 ③「学びに向かう力、人間性など」

の3つの柱からなる「資質・能力」を総合的にバランスよく育てていくことを目指しています。

聖心女子学院では、創立以来「魂を育てる」「知性を磨く」「実行力を養う」という3つの教育方針のもと学びの過程を大切に、思考する機会を多く設け、人や社会との関わりを大事にしてきました。新学習指導要領の観点は、聖心の教育と大きく隔たるものではありません。社会の変容を反映しながら、今まで学院が大切にしてきた学びをこれからも自信をもって進めていきたいと思えます。

指導要領の改訂に伴い、評価の観点もこれら3つの柱をもとにしていきます。自らの学びを振り返り、次の学びに活かしていく主体性や意欲を育むという考えから、各教科で子どもたちが行っている「自己評価票」は継続したいと考えます。また「自己評価」と共に、今まで通り「学習・生活の記録」に評定を記載してお渡します。子ども一人ひとりには、自らの努力を自信に繋げ、足りない部分を客観的に知ることによって、次の学びが意味あるものになることを理解してほしいと思っています。子どもたちの学びが数値として伝わるだけでなく、より良い成長を促すものとなるよう保護者の皆様には個人面接等で丁寧にお伝えするつもりです。評価については、2月の各学年保護者会であらためてご説明いたします。

今、子どもたちはクリスマスを迎える準備をしています。喜びの時にも苦しみにも私たちに寄り添い共に歩んでくださるイエス様のご降誕を、例年とは少し違う形ではありますが初等科生全員でお祝いできることを嬉しく思います。ご家族の皆様の上にも、神様の祝福がありますよう心よりお祈り申し上げます。

12月の行事

- | | | | |
|-------|---------------------------|--------|---------------|
| 1日(火) | 1st ゆりの行列 | 15日(火) | 面接日・午前授業 |
| 2日(水) | 6年まとめテスト②
母の会代表幹事会 | 18日(金) | 大掃除(午後) |
| 3日(木) | 作文発表会(4限3~6年) | 21日(月) | クリスマス・ウィッシング① |
| 4日(金) | 作文発表会(4限1~3年) | 22日(火) | クリスマス・ウィッシング② |
| 7日(月) | 2nd ゆりの行列
1年・転入・編入保護者会 | 23日(水) | 信者静修会 |

今年のクリスマス・ウィッシングのテーマ

Christmas in the Manger

「クリスマスは飼い葉桶の中に」

ゆりの行列 クリスマス・ウィッシングのプラクティス

「心をつないで」